

単元 資質・能力		実施時期									質的ルーブリック（判断基準）		
		1 学期			2 学期				3 学期		考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)
		学びの扉プロジェクトⅠ	学部学科研究	社会で求められる力	学びの扉プロジェクトⅡ	論理的思考力演習	表現力演習	福山市プロデュース	福山市プロデュース	学びの扉プロジェクトⅢ			
論理的思考力		○		○	○	◎	◎	○	○		問題解決に向け、与えられた思考のツールを用いて、自分なりの結論を導き出すことができる。	問題解決に向け、答えをつくり上げるために、思考のツールを用いて、自分やグループの思考をまとめて、根拠に基づいた結論を導き出すことができる。	問題解決に向け、より良い答えをつくり上げるために、適正な思考のツールを選択して、自分やグループの思考を整理し、正しい方法へ収斂して、根拠に基づいた結論を導き出すことができる。
表現力	プレゼンテーション力	○		○		○		○	◎	◎	与えられたテーマに対して、音声・態度に注意しながら、自分の意見を主張することができる。	与えられたテーマに対して、音声・態度・構成等に注意しながら、自分の意見を主張することができる。	与えられたテーマに対して、音声・態度・構成等に注意しながら、社会的背景・他者の見解等の観点も含めて分析し、自分の意見をわかりやすく主張することができる。
	文章表現力	○					◎		○	○	与えられたテーマに対して、自分の意見と何らかの根拠を、求められた分量の文章で記述することができる。	与えられたテーマに対して、構成に注意しながら、根拠を示し、説得力のある表現となるよう工夫して、自分の意見を主張することができる。	与えられたテーマに対して、構成・語句・文意等に注意しながら、社会的背景等の根拠を示し、説得力のある表現となるよう工夫して、自分の意見を主張することができる。
対人関係能力		◎		○	○	○		○	◎		問題解決に向けて、同じグループのメンバーの意見に耳を傾けて問題解決に取り組み、合意形成することができる。	問題解決に向けて、同じグループのメンバーの意見に耳を傾けながら、協力して問題解決に取り組み、異なる価値観を受け入れて合意形成することができる。社会を構成する一員として自らの役割を意識することができる。	問題解決に向けて、同じグループのメンバーの意見に耳を傾けながら、協働的に問題解決に取り組み、異なる価値観を受け入れて合意形成し、解決策を作り上げることができる。社会を構成する一員として自らの役割を意識し、状況の変化に対応して、問題解決に向け、行動することができる。

別紙様式 2 - ①

学びに向かう力	◎	○	○	◎					◎	どのような目的で本校に入学したかを自分の言葉で表現することができる。学習習慣を身につけ，学問に向かう姿勢を具体的な行動として表現することができる。	どのような目的で本校に入学したか，本校で何を学ぶのかを自分の言葉で表現することができる。主体的に学習する姿勢を身につけ，大学等における学びの意味を考え，具体的な行動として表現することができる。	どのような目的で本校に入学したか，本校で何を学ぶのか，なぜ学ぶ必要があるのかを自分の言葉で明確に表現することができる。主体的に学習する姿勢を身につけ，大学等や人生における学びの意味を自己と社会との関わりを意識して考え，具体的な行動として表現することができる。
主な学習活動（協議，討論，発表等）	協議 発表	協議	協議 発表	協議	討論 発表	協議	協議	演習 発表	協議			